

木を切るなら、森にも、人にもやさしく！

## SDGsラジオを読んでみよう！

マンションを建てるときに、木をたくさん使うって知っていますか？

コンクリートを流し込んでかたちをつくる「型枠」という工事では海外の木をたくさん使っています。

では次に、その木には「認証材」と「非認証材」という2種類があることを知っていましたか？

認証材は、植物や動物、木を切る人たちを守るルールにそって切られた木のことで、

そして非認証材は、ルールを守っているかわからない木のことで、

木を切ってはいけない場所でたくさん木を切ったり、子どもたちがムリに働かされたりしている問題があるかもしれません。

だからこそ、マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」は、認証材を使うことを大事にしています。

ルールにそって木を切り、切った後に木を植え続けることは、そこに関わっている人や森を守ることにつながっていきます。

では次に、「認証材」を使わないとどうなるのか？考えてみましょう。

## SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



マンションを建てる時には、コンクリートや鉄だけでなく、木もたくさん使われています。たとえば、「型枠」という工事では、木材(合板)を使って枠をつくり、その中にコンクリートを流しこんで、壁や床の形をつくれます。このように、木はマンションづくりでも大切な材料で、だからこそ考えなければならぬのが、「その木が、地球や人、生き物にどんな影響をあたえているのか」ということです。そのようなことから今、注目されているのが「認証材・非認証材」という考え方です。まず「認証材」とは、森や動物、木を切る人たちなどを守るためにつくられたルールを守って、きちんと管理された森から切り出された木のことで、一方で「非認証材」とは、木を切ってはいけない場所でたくさん切ってしまったら、海外では子どもがムリに働かされている(児童労働)など、さまざまな問題がある木のことで、

がぞうさんしょう ひんしやうざい もんだい かたわく ず みつびしじよ ホームページ  
画像参照：「非認証材」による問題と「型枠」のイメージ図(三菱地所レジデンスHPより)



こうした問題に対して、マンションなどの住まいをつくる会社「三菱地所レジデンス」は、型枠工事のときに、ルールをきちんと守っている「認証材」を使っています。さらに、新しい森を育てることが約束された木を使うというような取り組みも進めています。認証材を使うことで、子どもたちをムリに働かせたり、自然のバランスをくずすようなことをへらし、二酸化炭素を吸収してくれる森を守ることにもつながります。三菱地所レジデンスはこうして地球の環境を守りながら、人や生き物にもやさしい社会をめざしています。

がぞうさんしょう ひんしやうざい しやう ず みつびしじよ  
画像参照：「認証材の使用」イメージ図(三菱地所レジデンスHPより)

## キーワード

### 型枠

コンクリートを流して形をつくるための木の枠のことで、コンクリートが固まるまで、その形を支える大事な道具です。型枠があることで、壁や柱などの建物の形をつくることができます。

### 合板

うすい木の板を何枚も重ねてくっつけた、強い木の材料です。建物や家具をつくる時によく使われます。

### 児童労働

子どもがムリに働かされることをいいます。勉強したり元気に遊んだりすることがじゃまされてしまうので、世界中でやめようという動きが広がっています。

## 対象ゴール



## みなさんにできること！

「認証材」と「非認証材」のことをもっと調べてみましょう。

- マンションを建てる時には、木がたくさん使われている。
- 木には「認証材」と「非認証材」があり、「非認証材」には自然や生き物への悪い影響や児童労働などの問題がある。
- 三菱地所レジデンスは、2030年度までにマンションで使う「型枠材」をすべて「認証材」にすることをめざしている。

## メモ

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

